

校長室から

知覧中学校の歴史を「知覧町郷土誌」を利用して紐解いてみると、昭和24年4月に3つの中学校が開校していることが記載されている。

1校目は、知覧町立知覧中学校(ちらんちょうりつ ちらんちゅうがっこう)

2校目は、知覧町立中央中学校(ちらんちょうりつ ちゅうおうちゅうがっこう)

3校目は、知覧町立二松中学校(ちらんちょうりつ にしょうちゅうがっこう)

その後、昭和56年4月にこの3つの中学校が統合され、新制「知覧町立知覧中学校」となり、さらには、平成20年4月から、市町村合併に伴い「南九州市立知覧中学校」と名称が変更されている。

そして、令和5年度は、学級数8学級、生徒数は234人でスタートした。本校は、素晴らしい実績と歴史のある学校であると自負している。このことに加え、私は、生徒たちにこれからの社会をたくましく生き抜いてほしいという願いを込めて、以下のことも伝えてきた。

これからの社会の中で、自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、よりよい地域・社会の創り手となっていくために、自分らしい生き方への実現に向け、次の4つの力をさらに伸ばしていくことを願っている。

《中学校生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

【人間関係形成・社会形成能力】 《例》 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力 コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップなど	【自己理解・自己管理能力】 《例》 自己の役割の理解、前向きに考える力、 自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、 主体的行動など
【課題対応能力】 《例》 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、 原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、 評価・改善など	【キャリアプランニング能力】 《例》 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、 多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など

授業や学校行事、部活動等の様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自らを成長させることを意識してほしい。そのことが、「なりたい自分になれる」ことにつながると信じている。

令和5年4月

南九州市立知覧中学校

第15代校長 長野和己